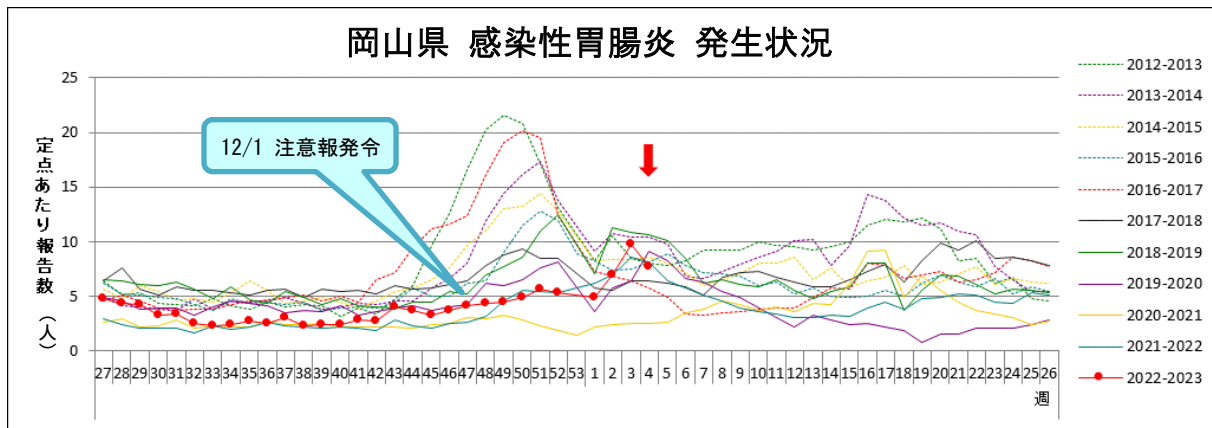


感染性胃腸炎週報 2023年 第4週 (1月23日～1月29日)

岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』発令中です

岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で413名(定点あたり7.65人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。

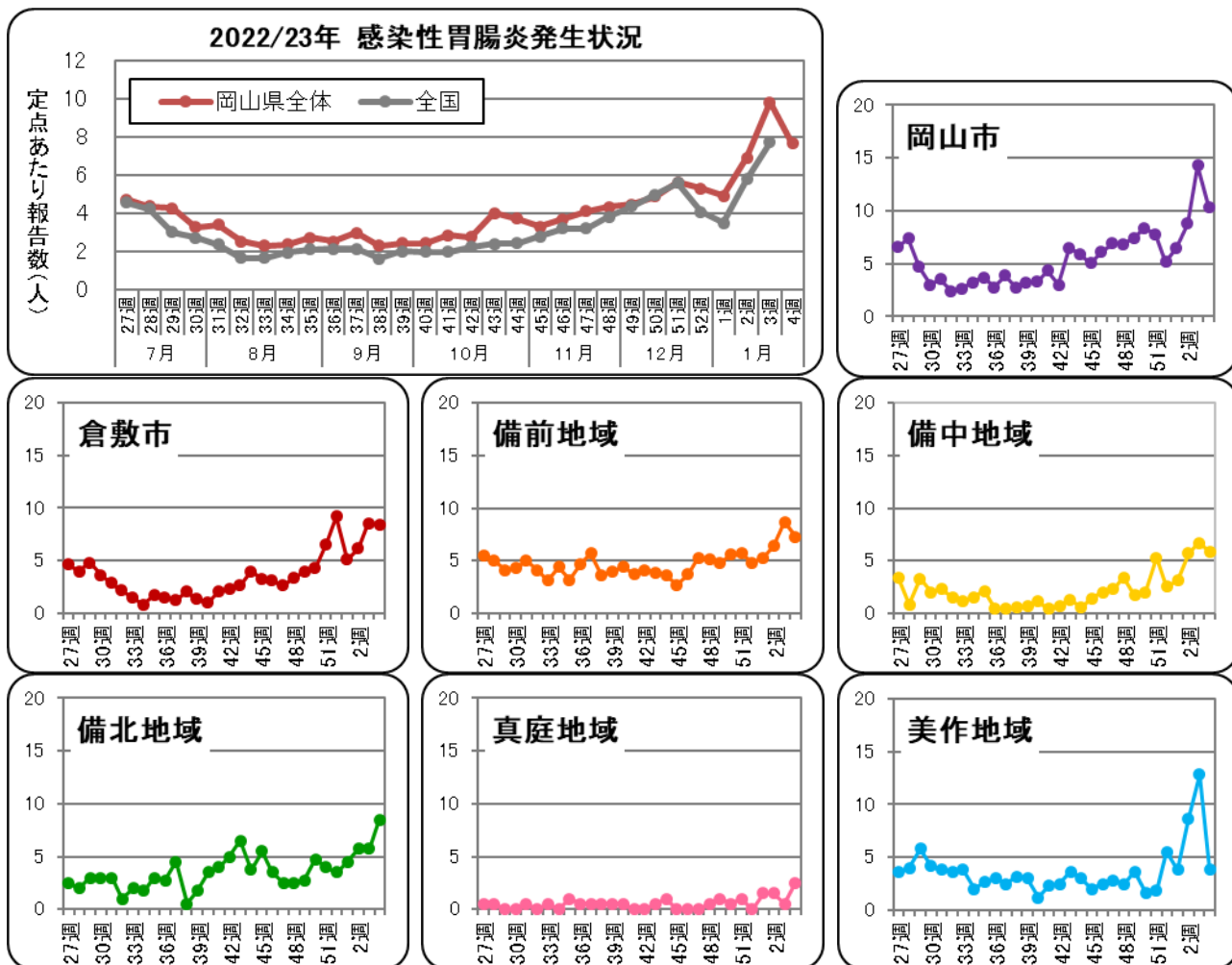


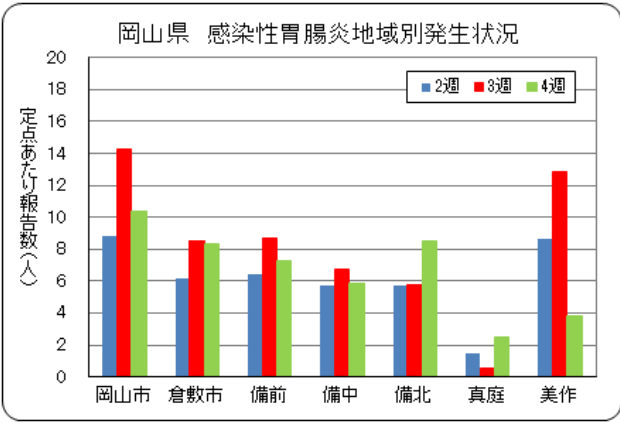
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で413名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり9.80→7.65人)。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底、食品の十分な加熱、おう吐物・下痢便の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めましょう。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

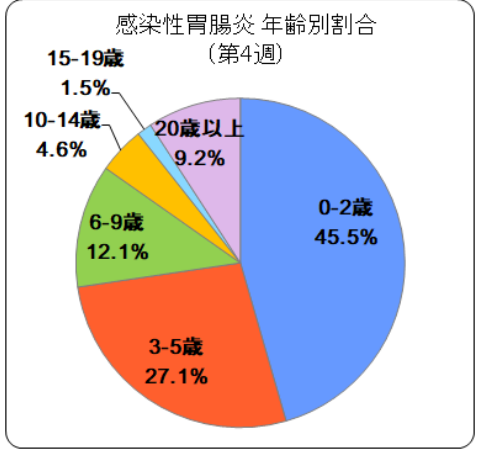
◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。

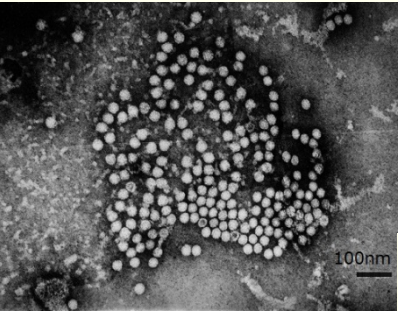


小児科定点 (54 定点医療機関) からの報告によると、2023 年第 4 週の年齢別割合では、0-2 歳 45.5%、3-5 歳 27.1%、6-9 歳 12.1%の順に多く報告されています。

◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予 防 方 法>

- 1. 最も大切なことは、手を洗うことです。**
排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。**
おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。これらを処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**(*家庭用塩素系漂白剤でも代用可)で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。
- 3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1 分間以上の熱水処理または次亜塩素酸ナトリウム**(*家庭用塩素系漂白剤でも代用可)**での消毒が有効です。**
おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。
- 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を 85～90℃で 90 秒間以上)**
二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。



※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

[〇ノロウイルスに関するQ&A \(厚生労働省\)](#)

ノロウイルスの電子顕微鏡写真
岡山県環境保健センターウイルス科 画像

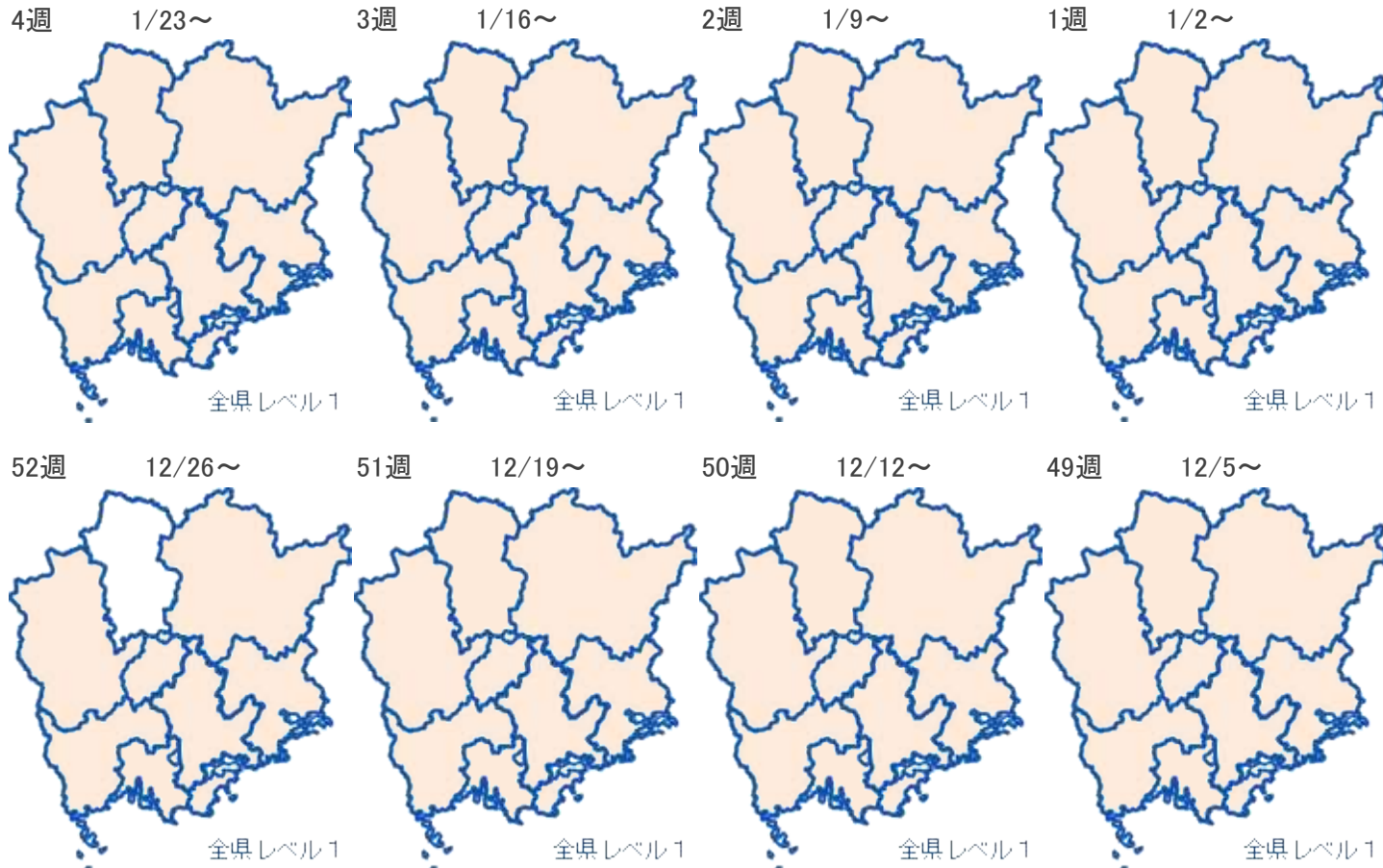




岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2023年 4週

2023年2月1日

10:20:52



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
20	12			0 < 20 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。